

学年	3	科目 分類	離散数学 Discrete Mathematics	講義 必修	通年 2単位	学習教育 目標	担当	鈴木康人 Yasuhito SUZUKI
学科(1年 は775)	S					3		
概 要	情報処理において処理対象となるオブジェクトを分析するとき、その数学的な取り扱いが問題となるときがある。離散数学はそうした取り扱いに対する基本的な数学概念を提供する。							
科目目標 (到達目標)	離散的なオブジェクトの取り扱いについて、基本的な内容を理解し、扱える							
教科書 器材等	小倉著, 「はじめての離散数学」, 近代科学社, 2011.							
評価の基準と 方法	定期試験							
関連科目								
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		離散集合						
第2回		離散集合						
第3回		論理計算						
第4回		論理計算						
第5回		写像						
第6回		写像						
第7回		数え上げと帰納法						
第8回	×	前期中間試験						
第9回		答案返却と解説						
第10回		数え上げと帰納法						
第11回		数の体系						
第12回		数の体系						
第13回		数の拡張						
第14回		数の拡張						
第15回		剰余計算						
第16回	×	前期期末試験						
第17回		答案返却と解説						
第18回		剰余計算						
第19回		離散代数						
第20回		離散代数						
第21回		離散関係						
第22回		離散関係						
第23回		離散グラフ						
第24回		離散グラフ						
第25回	×	後期中間試験						
第26回		答案返却と解説						
第27回		木グラフ						
第28回		木グラフ						
第29回		順序の数学						
第30回		順序の数学						
第31回		予備						
第32回		予備						
第33回	×	学年末試験						
第34回		答案返却と解説						
オフィスアワー	公務と出張以外平日放課後17:30-18:00							
授業アンケート への対応	昨年度と到達目標を変更し、より明確な内容となるように努力する。							
備 考								
更新履歴	20120326 新規							